



商店街を調査する横山隊員

市長 評判はどうですか？
合田 市内でもさまざまなお取り組みはされていますが、このハチミツのように地域のめぐみからできたものを容器に入れてかた方になると地域の方にも喜んでいただいています。

市長 信楽まちなか芸術祭で何か感じたことはありますか？
横山 信楽まちなか芸術祭の活動により地域の方々の関係が深まり、お祭りや催しものに「えっちゃんおいでよ」って気軽に呼んでもらえるようになりまして。人とのつながりができたことは何よりも良かったですと思います。このつながりを大切に、4月からは商店街のスペースを活用し、展示やワークショップを

行い、自分目線で発見した信楽の魅力を伝えていく活動を展開しようと考えています。
上原 信楽焼のまちですから、さまざまな作家さんと話す機会があります。感じたことは、高齢の方ですとSNS等インターネットを活用した新しい販売方法が苦手な方もおられるということです。今後、陶器を使ったライフスタイルをSNS等で提案・展開していきたいです。



▲芸術祭の準備に奮闘する横山隊員

地域おこし協力隊からの提案
 ～市の魅力をアピールするには～

市長 甲賀市は、世界ブランドの忍者や焼き物、お茶、茶業等素晴らしい地域産業があります。ただ、地域資源があり過ぎて、本市の特色を見

出していくのが難しいという思いを抱えています。他から見ても空き工房があるのは信楽の特色だと思っています。
横山 物件を空き家バンクに登録している方は少ないと聞きますが、実際には貸したい物件はあると思いますので、それを有効活用できたら効果はあると思います。

横山 甲賀市はいつぱい魅力があるから関心をもってもらうと思います。もう少しPRの工夫が必要かと思えます。信楽も焼き物だけでなく、お茶や人の魅力など多くあります。市外からみた視点を取り入れることがPRには必要かと思えます。
上原 産業の一つひとつにつなぐ感じがないように感じます。地域ブランドとしてやっていくにもクロスアピールは重要です。日本の焼き物は海外でも評価が高いので、お茶ブームの今こそお茶



▶植木鉢の製作説明する上原隊員

と焼き物を合わせて売り出していくべきです。
田中 観光で来たときに、甲賀の観光が循環していない感じがしました。甲賀でしかできない忍者を背景として循環できる観光の仕組みを作りあげることが必要です。やはり、他の地域との差別化を図るためには忍者を使った地域おこしが甲賀市の一番めざすところではないかと考えます。

合田 甲賀のお茶は本当にいいですよ。でも、信楽焼の器とお茶をPRしているポスターを見ましたが、どこに行けば飲めるのか書いていないため、何をPRしているのかわかりませんでした。何がどこにあつてどこに行けば楽しめるのか。伝えたいことはなんなのか。上手にPRすれば、素材はいいモノがあるのでもやればよかっただけ効果があると思います。

りたい人に移住してもらい、陶器産業の後継者につなげていけばと思います。他から見ても空き工房があるのは信楽の特色だと思っています。
合田 物件を空き家バンクに登録している方は少ないと聞きますが、実際には貸したい物件はあると思いますので、それを有効活用できたら効果はあると思います。

上原 市の空き家バンクでも貸し工房をやってみては面白いかなと思います。今、陶業を辞めてしまつて工房だけ残っているところが、信楽をまわつていくとたくさんあります。こういう施設がありますと詳細をホームページ等で掲載し、マッチングを図っていけばどうでしょうか。新しく陶芸をや

りたいた人に移住してもらい、陶器産業の後継者につなげていけばと思います。他から見ても空き工房があるのは信楽の特色だと思っています。
合田 甲賀市で住みたい、子どもを育てたいと思えるような特色が必要だと思っています。
上原 例えば、多羅尾小学校の児童は少数ですけど、本当に独自色を打ち出して、小学生のフオリティとは思えないレベルの高いオペレッタに取り組んでおられます。他の小学校でもさまざまな取り組みをされていると思いますが、教育環境が充実していれば、そこ

で子どもを学ばせたいと思ひ移住する家



▲作家と談笑する上原隊員



▲忍者に扮して竹藪整備する田中隊員

環境が充実していれば、そこ
市長 皆さんが、地域のことで、甲賀市のことを考えていただいていることがよく

族も増えるかもしれません。
田中 そうですね。移住や教育も大切ですが、農業においても既存の農業だけではなく生産から加工・販売までの6次産業化への試みも必要です。今の活動である植物油もそのひとつで、最終的には自分ではなく地域の方が中心となって定着するように私なりの考えを提案したいと思っています。
合田 さまざまなことをやらなければいけないので大変だと思いますが、選択と集中も大事です。弱みを補ったところでマイナスがゼロになるだけで、ゼロは魅力じゃないです。やはり、プラスをどれだけ増やしていくかがポイントだと思います。

わかりました。本当に課題はたくさんありますが、行政は万能ではなく、すべてを解決できません。やはり、地域の皆さんの力が必要です。失敗することを恐れず、まずは行動してみ、そこから学び次に生かすことが大切です。
 皆さんも含め市民の方が甲賀市の魅力をアピールする取り組みには市としても支援したいと考えています。若者が、地域でつながりや仕事をもち、活躍・挑戦できるまちづくりのムーブメントを起こすよう共に頑張ってくださいませ。



▲ひまわりの種まき後みんな集合

▲座談会のメンバーで忍者ポーズ